



舞台照明を 勉強できる学校トップ5 —その2—

先月号では、ロンドンで舞台照明デザイナー／テクニシャンになるための勉強とトレーニングができる学校の1校 Royal Central School of Speech and Dramaをご紹介します。今月号ではトップ5の残り4校を紹介したいと思います。

Rose Bruford College は、大学内に Theatre in the round の劇場と黒箱のスタジオがあり、設備、機材が整っているのでとても人気です。この大学は3年制BA(大学学士号)で、ロンドン市外にあり、照明のコースは Lighting Design 科と Creative Lighting Control 科の2つがあります。RCSSDの照明デザイン科と内容は似ているようですが、違う点は、Rose Brufordの照明デザイン科のほうが、デザインだけでなく、技術面にも映像テクノロジーにも力を入れていると聞きました。

Mountview Academy of Theatre Arts大学は3年制BA(大学学士号)

で、Theatre Production Arts科というコースがあります。このコースは、照明だけでなく、音響、舞台監督、映像を全体的に勉強するコースですので、舞台は好きだけど、どの部門につきたいか決まっていな人や、照明以外の知識をつけたい人に向いています。

LAMDA 学校は、Stage Management & Technical Theatre 科という、2年間の予備コースがあります(学士号ではありません)。予備コース(予備校に近い意味)は、ファウンデーション学位をとれます。それを卒業してから、3年制の学士号に進みたい人は、この単位を移行することによって、2年生から入れる可能性があります。学校内にはスタジオ劇場が1つありますが、West Endの小、中劇場とも連携しているため、校外のプロダクションと関わる機会が多いようです。

Royal Academy of Dramatic Art (RADA) 学校も、Stage Electrics & Lighting Design 科という2年間の予備コースがあります(学士号ではありま

せん)。ロンドンのど真ん中にあり、学校内に大きめのプロセ劇場1つと、スタジオ劇場2つを備えています。この学校は、学士号はとれなくとも、専門学校のように、実技にかなり力をいれていると聞きました。

私はロンドンで語学学校に行ってから、すぐにロンドン南のLewisham College という学校の、1年制の Technical Theatre 科ファウンデーションコース(予備コース)に通いました。自分はその当時、イギリスの舞台勝手も、用語も全く知らなかったので、大学に入る前に、このファウンデーションコースに通って正解でした。このコースでは、舞台すべての基礎を一から教えてくれ、実技が多いうえに、先生が教えるのがうまい方々だったので、とても助かりました。

おそらく、この照明家協会誌を読まれている皆様は、すでに日本で活躍されていらっしゃる方々なので、基礎を学ぶ必要はないと思いますが、もし周りで、海外で舞台照明を勉強されたい方がいらっしゃいましたら、上の学校5校をおすすめします。

学位や資格はもっていて損はありません。でも学位や資格があるからといって、仕事場で有利な立場になるわけでも、お給料があがるわけでもありません(イギリス舞台照明の場合)。結局は自信のセンスと努力、そして自分がどれだけ打ち込めるかの熱意とモチベーションの世界です。日本の舞台照明業界も、そうなのでしょうか? 今度是非、日本の照明家の方々にお聞きしたいと思います。



UNI GRADUATE